

(2) 公共用水域の水質汚濁防止

【現状と課題】

公共下水道・農業集落排水事業区域内の水洗化率※1及びこれらの区域外での合併処理浄化槽の普及率は増加傾向にあります。

引き続き下水道等への接続や合併処理浄化槽の設置を促し、水質汚濁による自然環境・生活環境への悪影響の防止と継続的な監視、健全経営に向けた検討が求められています。

処理区域内別人口及び水洗済み人口の推移



【基本方向】

公共下水道等の普及による公共水域の水質が守られた、快適に生活できる村を目指します。

【施策の内容】

- ① 公共用水域の水質を保全するため、公共下水道事業・農業集落排水事業の適正な運営を図ります。
 - ・公共下水道・農業集落排水施設の適正な維持管理
 - ・機能診断調査を踏まえた最適整備構想※2に基づく施設の計画的な更新
- ② 快適な住環境を創出するため、公共下水道等への接続を促します。
 - ・未接続世帯等への調査及び普及促進
- ③ 公共下水道事業区域等以外の区域では、合併処理浄化槽設置を支援します。
 - ・合併処理浄化槽設置に対する補助
 - ・浄化槽パトロールの実施、維持管理講習会等の開催（年1回）
 - ・合併浄化槽の維持管理及び更新等に対する補助の検討
- ④ 公共下水道事業等の経営の健全化・効率化のために、下水道処理区の統廃合を含めた検討を行います。

・ 汚水処理施設の統廃合に関する調査及び長期的な計画見直しの検討

⑤ 豊かな水環境を維持するために、公共用水域の水質の継続的な監視を行います。

- ・ 水道水源の定期的な水質検査の実施
- ・ 河川等水質検査の実施
- ・ 井戸水の水質検査

⑥ 健全な水循環を維持するため、水循環基本法の基本理念を踏まえた必要な規制のあり方を検討します。

- ・ 関係条例等の制定に向けた検討

【目標指標】

目標指標	現 状	目標値 (2024 年度)	目標値の説明
水洗化率	(2019 年) 90.9%	93.5%	「水循環・資源循環のみち 2015」構想を参考に、年 0.6%の増を見込む

(合併浄化槽による処理を含む)

関連計画

- ・ 「水循環・資源循環のみち 2015」構想

〔用語解説〕

- ※1 水洗化率：公共下水道等を整備した区域内の人口に対して、実際に公共下水道等に接続して水洗化した人口の割合
- ※2 最適整備構想：農業集落排水事業の各処理区の機能保全計画をとりまとめ、全施設を縦横断的に最適化（予算の平準化、同期化）し、最適な実施シナリオを反映した長期的な整備構想